

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-2	5-3-1	事業名	創成川通親水緑地整備事業			
担当	環境局みどりの推進部みどりの推進課 長谷川 211-2522 建設局土木部創成・駅前整備担当課 小泉 211-2641						
全体計画							
事業内容	創成川通親水緑地整備事業は、アンダーパス連続化事業により創出される約1.9haの河川・緑地空間において、平成17年9月に策定された「緑を感じる都心の街並み形成計画」に基づき、創成川の歴史的価値を重んじつつ、緑と水を活かし、時代に合った市民のための新しい空間を整備するものである。 <事業年度> 平成20年度～平成22年度 <事業内容> ・園路広場整備(歩行者用園路、広場設置等) ・修景施設整備(樹木植栽、張芝設置) ・休養施設整備(ベンチ等設置) ・管理・便益施設整備(照明、サイン、トイレ等設置) ・創成川親水護岸整備 約800m ・創成橋の復元			<年度別の事業内容>			
				<平成20年度> ・緑地実施設計 ・護岸工、導水管設置工 <平成21年度> ・歩行者用園路、植栽 ・トイレ、照明 ・狸二条広場 ・護岸工、導水管設置工 ・創成橋の復元 <平成22年度> ・ベンチ、サイン、植栽、張芝 ・壁泉、照明 ・狸二条広場			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	(空欄)			護岸、導水管工 300,000千円 緑地空間等実施設計 22,000千円			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
都心部における水とみどりの空間		-	-	工事中	工事中	1.9ha	1.9ha
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 1000人ワークショップや「緑を感じる都心の街並み形成計画」など、各段階でパブリックコメントなどを実施し、市民意見を反映しながら、親水緑地空間整備のマスタープランが策定されている。							
企業等との連携・協働 【資金協力】 植栽実施にあたっては、環境CSRを推進する企業や社会奉仕団体等との連携・協働を取り入れていく予定。 【人材協力】 - 【情報協力】 各種マスコミ取材などを通じて、事業の理解を深めるようにしている。 【その他の協力】 -							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業は、詳細デザインを進める中で地元の方々との意見交換や市民に対する情報提供(シンポジウムの開催など)を行いながら、市民等が参加しやすい環境づくりを進めている。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-1-2	5-3-1		事業名	創成川通親水緑地整備事業		
評価(成果)				課題			
<p>本事業は、みどりの推進部で行う公園整備、文化部で行うアートワーク事業と連携しながら、都心部における新たな親水緑地空間を創出するものである。</p> <p>この整備の実施により、以下の成果が見込まれる。</p> <p>【都心部における賑わいの創出】 創成川通親水緑地整備により、多くの市民や観光客が訪れ、都心部における歩行者の回遊性の高まり、様々な集客交流活動の促進などが図られ、創成川東西市街地のつながりが強まり、周辺まちづくりや都心の活性化に大きく寄与することになる。</p> <p>【都心部における水とみどりの潤いある空間の創出】 創成川通親水緑地整備により、水辺を最大限に活かしながら、これと調和する四季折々の多様なみどりが確保され、市民が身近にみどりを感じたり触れたりする機会が高まる。</p>				<p>実質2か年という限られた短期間での整備となるため、創成川アートワークや狸二条広場などの関連事項との事業内容の調整や地上部道路工事などの工程管理を進めていく必要がある。</p> <p>植栽場所が、アンダーパス上やアンダーパスと河道護岸の隙間という特殊な条件であることを考慮し、みどりの骨格軸を形成するための土壌改良や灌水(かんすい)装置といった生育環境を十分整えた整備を行う必要がある。</p> <p>平成23年以降の年間管理費は想定で約15,000千円(1000円/m²)を見込んでいる。</p>			
今後の事業の予定・方向							
都心の魅力と活力の向上を早期に実現するため、創成川通の地上部道路整備やアートワーク事業などと調整を図りながら、平成22年度の全面完成を目標に事業を進める。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	340,000	1,250,000	510,000	2,100,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	165,000	620,000	255,000	1,040,000
		市債	0	118,500	490,000	219,300	827,800
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	56,500	140,000	35,700	232,200
予算	事業費	0	322,000	-	-	322,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	161,000			161,000
		市債	0	114,000			114,000
		その他	0	0			0
		一般財源	0	47,000			47,000
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				15.3%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 整備区間は7つのブロックから構成され、アンダーパス整備の進捗に合わせて緑地空間整備に着手することになる。また、創成川アートワークや狸二条広場などの関連項目との事業調整を進める中で、計画事業費との調整が今後必要となる。</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度]</p>							